

第 48 回全国学童保育指導員学校・西日本・愛知会場（20230604）レポート

【クラブ】（ 風の子クラブ ）

【名 前】（ 東 和江 ）

① 午後に参加した講座のタイトルをお書きください。

（ 特別 ）講座（№11 ） （ 学童保育と性教育 ）

※全体講座のみに参加された方は、全体講座のタイトルをお書きください。№と選んだ理由は必要ありません。

② この講座を選んだ理由をお書きください

高学年の性に対しての言葉が気になっていたところに、この講座を目にして受講しようと思いました。

③本日の講座で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

性教育というと、難しさを感じるかもしれませんが、性と向き合うことは大切なことと以前から思っていました。

私は物心つく頃から「女の子でしょ。」と言われるのが嫌でした。なぜ、好きな遊びをすると怒られるのか…。「女の子と遊ばないの？」と言われたこともあり『野球、サッカーで遊ぶのがいけないことなのか？折り紙やごっこ遊びをしないといけないのか？』と疑問でしかなかったのです。幸いなことに親が「そんなの気にしないで好きなことをすればいい」という考えだったので救いでした。第二次性徴の時期は嫌悪感すらあったのでトランスジェンダーなんだろうな、と思いながら聞いていました。

男の子、女の子、男性、女性、ではなく『人』と思えば何の疑問も難しさもないのではないか、けど性差によって体調を考慮するのも大切なこと、と思っていたので自分の思う性教育で興味深く、楽しい講座であり、広い世代に受講してもらいたいと思いました。私の息子は幼稚園年長期から生理について話をしている、生理がくると体調を気にかけてくれたりします。将来、パートナーとなる人や大切な人が突然生理になった時もコンビニやドラッグストアで生理用品が買える人になってもらいたい。思春期で恥ずかしさが出てくる前に、恥ずかしいことではなく生きるうえで大切なことだと伝えることができるといいな、と改めて思いました。

今は良くも悪くもネットの時代で、間違った知識を覚えるくらいなら正しい知識を伝えるということで性犯罪の被害者にも加害者のもならない、子どもを守る観点からも、性教育に対する大人の知識、認識を変えることも始めなくてはいけないと思いました。

※提出されたレポートは、当会の広報誌やホームページに掲載する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※×切は、6/18（日）です。常勤専任指導員に手渡し、または okazakigakudou@yahoo.co.jp までお送りください。